

審査結果概要書

平成 21 年 12 月 14 日

審査機関名 ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	灯油ボイラから木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト
排出削減事業者名	医療法人中庸会
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	介護老人保健施設 やまゆりの里 (住所：岩手県遠野市宮守町達曾部 27 地割 20 番地 11)
事業の概要	灯油ボイラ 1 台を木質バイオマスボイラ 1 台へ更新する。バイオマス燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	226tCO2/年 (事業実施期間合計 1017 tCO2)
国内クレジット認証期間	開始予定日 2008 年 10 月 27 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論 001 「ボイラの更新」

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所：介護老人保健施設 やまゆりの里
追加性を有すること	本排出削減事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではない。更新に当たって、省エネルギーおよび CO2 排出量の削減を目的として本事業の実施を計画されたものであ

	<p>ることを排出削減事業者への質問等により確認した。</p> <p>排出削減事業の投資回収年数については、入手した根拠資料、質問および検算により、約 20 年であることを確認した。投資回収に長い期間が掛かるが、国内クレジット制度参加によって、クレジット売却益により投資回収年数短縮が図れる見込みであることから、本事業への投資決定の重要な一因となったことを確認した。</p>
<p>自主行動計画に参加していない者により行われること</p>	<p>自主行動計画に参加していないことについては、現地審査において、排出削減事業者へ質問を行い、自主行動計画に参加していない企業であることを確認した。</p>
<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1) 本排出削減事業は、承認排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認した。また、設備の使用年数も法定耐用年数の 2 倍 (30 年) を超えていないことも質問・関連資料の閲覧により確認した。</p> <p>【方法論番号 001 ボイラの更新】</p> <p>適用条件 1 については、バイオマスへの燃料転換を行うため、ボイラ効率の改善を問う適用条件 1 を満たす必要はない。</p> <p>適用条件 2 については、質問、関連資料の閲覧等により、更新前のボイラを継続して利用することができることを確認した。</p> <p>適用条件 3 については、更新後のボイラで生産した熱の全量が自家消費されていることを事業実施サイトの視察、全体レイアウト図の確認、及び関係者への質問等により確認した。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることを、事業者への質問と関連資料の閲覧により確認した。</p> <p>3) 当該事業で使用するバイオマス燃料の輸送等に係るリーケージ排出量については、排出削減事業者及び燃料供給事業者等より提供された関連証憑等により、本排出削減事業の排出削減量を 5% を超える事を確認した。排出削減量算定に当たっては、リーケージ排出量を考慮した排出としている。</p>

4. 特記事項

- ・ 投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。
- ・ 現地審査を実施した結果、リーケージの評価等、是正の必要な指摘事項があった。その是正処置の完了を確認した。
- ・ 木質ペレットについては、主として外材を原料に使用していることを、排出削減事業者及び燃料供給事業者への質問により確認した。

以上